

News release

2020年2月3日

潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の共同販売契約終了のお知らせ

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、ゼリア新薬工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：伊部 充弘、以下「ゼリア新薬」）と締結している潰瘍性大腸炎※治療剤「アサコール®」（一般名：メサラジン）の国内における共同開発および共同販売契約を 2020年3月31日 で終了することをお知らせします。

アサコールは、有効成分メサラジンに、pH 依存型放出調整特性を持たせた腸溶製剤で、2009年12月に国内で発売されました。協和キリンとゼリア新薬は 2007年1月にアサコールに関する共同開発および共同販売契約（以下「本契約」）を締結し、アサコールの発売後は本契約に基づき、製造はゼリア新薬が行い、1ブランドを両社のチャネルで販売してきました。

今回の契約終了に伴い、協和キリンによるアサコールの販売を 2020年3月31日に終了し、2020年4月1日以降のアサコールの販売はゼリア新薬が行います。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

※ 潰瘍性大腸炎

潰瘍性大腸炎は大腸の粘膜（最も内側の層）にびらんや潰瘍ができる大腸の炎症性疾患で、日本では難病に指定されています（指定難病 97）。特徴的な症状としては、下血を伴うまたは伴わない下痢とよく起こる腹痛です。病変は直腸から連続的に、そして上行性（口側）に広がる性質があり、最大で直腸から結腸全体に広がります。

（出典：難病情報センターホームページ（2020年1月現在））